PART1　識別の基本（に）

「に」の識別

【識別対象】

1　**形容動詞**ナリ活用の連用形の活用語尾
2　**ナ行変格活用動詞**「死ぬ」・「往ぬ」・「去ぬ」の連用形の活用語尾
3　**完了の助動詞「ぬ」**の連用形
4　**断定の助動詞「なり」**の連用形
5　**格助詞**の「に」
6　**接続助詞**の「に」
7　**副詞・副助詞**の一部　→「さら**に**」「まさ**に**」「げ**に**」「だ**に**」など

★〈見分け方〉＝「　　」↓「　　」

1　「　　・　　」＋に＝**形容動詞**

｛「　　」「　　」「　　」｝＋**に**　の形が多い。

(例)　にはか**に**、親この女を追ひうつ。
あはれ**に**見給ふ。

2　｛　　　｝**に**の「**に**」＝**ナ変動詞**連用形の活用語尾

(例)　狩りにい**に**けり。

３「　　形」＋に＝**完了の助動詞**「ぬ」の連用形

※　**に**＋｛　　の形が多い。

（例）事なくてやみ**に**けり。

〈Memo〉

第25講 PART1 確認問題

① 「いましづか<u>に</u>、御局（みつぼね）にさぶらはむ。」の傍線部の文法的説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　ナ行変格活用動詞の活用語尾
イ　形容動詞の活用語尾
ウ　完了の助動詞
エ　断定の助動詞

② 「世かはり時うつり<u>に</u>ければ、…」の傍線部の助動詞の文法的意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　断定　　イ　過去　　ウ　完了　　エ　打消

③ 「野分（のわき）のまたの日こそ、<u>いみじうあはれにをかしけれ</u>。」の傍線部の品詞構成として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　形容動詞＋名詞＋形容詞
イ　形容動詞＋助詞＋形容詞
ウ　形容詞＋名詞＋助動詞
エ　形容詞＋形容動詞＋形容詞

④ 「すゑなほして去（い）にければ、…」の傍線部と文法的に同じものを、次の中から選べ。

ア　行（ゆ）くさき多く夜もふけにければ、…

イ　真実（しんじち）に絶（た）えいりにければ、…

ウ　まどひ来（き）たれど死にければ、…

エ　おのが世々になりにければ、…

⑤ 傍線部のうち、一つだけ品詞が異なるものを次の中から選べ。

ア　人の国へいにけり。

イ　夜になりて寝にけり。

ウ　御（み）船来にけり。

エ　三十日（みそか）あまり九日（ここぬか）になりにけり。

第25講　PART1　確認問題　解答

〔解説〕

① 状態・性質を表す語につく「に」は形容動詞ナリ活用の連用形の活用語尾。よって、イが正解。

② 連用形に接続し、下に「ければ」と「けり」があることからも、完了の助動詞「ぬ」の連用形。よって、ウが正解。

③ 「いみじう」は形容詞「いみじ」の連用形のウ音便化したもの。「あはれに」は、状態・性質を表す「あはれ」＋「に」なので形容動詞「あはれなり」の連用形。「をかしけれ」は形容詞「をかし」の已然形。よって、エが正解。

④ 「去(い)に」の「に」はナ行変格活用動詞「去ぬ」の連用形活用語尾。選択肢の中で、ナ変動詞の連用形活用語尾はウのみ。他は連用形に接続しているので完了の助動詞「ぬ」の連用形。よって、ウが正解。

⑤ 選択肢アは「いに」で一語のナ行変格活用動詞。他は連用形に接続する完了の助動詞。よって、アが正解。

〔解答〕

① イ　② ウ　③ エ　④ ウ　⑤ ア